

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令遵守の運営とさせていただきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令遵守の運営とさせていただきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			教室内は極力段差等のない環境としています。2022 年度飛び出し防止の柵を事業所内に設置、安全性を高める。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼、終礼時、月 1 回の会議、若しくはチャットツールを使用して情報共有を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けの評価を実施、保護者意向を踏まえ出来る限りの改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第 3 者による外部評価は現在行っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部では定例研修を ZOOM で実施、外部研修も希望者へは参加許可としています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の要望を受け、ニーズや課題を集約、その上での計画作成としています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			グループに於いて療育のヒントとなるべき本を発刊、NC プログラムの導入等。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			できる限り、複数担当制として多様な意見を取り入れる事ができる環境としている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			可能な限り、固定指導員制とならないように配置、多様な意見を取り入れて固定化しないように考えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	個別療育の希望が多いのが実情となるが、保護者の要望、児童の発育段階においては集団活動もとりいれている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間での情報共有を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を見直す事で児童の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要に応じて不定期での見直しもやっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		児童との関り、信頼関係が高い指導員を優先的に参加できるような環境作りを可能な限り実施。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			利用時間、曜日を固定として運営を行っています。イレギュラーな日程等については事前に情報を頂き対応しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	医療的ケアが必要な児童との契約はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者のご要望にて適宜おこなっています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		保護者のご要望にて適宜おこなっています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		可能な限りの参加としています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		基本的には交流や活動の機会は設けていません。今後については現段階では未定となります。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			可能な限りの参加としています。グループを代表して他校舎になりますが1校参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話での連絡、事業所内での相談等、適宜行っています。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングを、実施できる職員が不在。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			各職員で可能な限りの情報共有を行い、保護者への助言等を行っています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、要検討。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			職員間で情報共有を行い、迅速な対応を心がけ運営を実施。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			元氣サーチ、ワムネット等に登録公開中。ブログは2週間に1度の更新。療育情報等については継続してクラ・ゼミ HP より発信中。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			PC や書類等の持ち帰りは行わない行動としています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			場面性緘黙症、聴覚過敏、視覚過敏等、児の特性に合わせた配慮を可能な限り行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ状況を鑑みて率先して現状行っていません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内において、各種マニュアルを開示、共通認識としている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に利用者も含め避難訓練の実施。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待研修、身体拘束研修を定期的実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			基本、飲食は行わない。飲食が伴うケースが想定される場合は事前に情報収集を行う。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校 保護者等数（児童数）： 47 回収数：28 割合： 59.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	3	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	1	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	8	4	意見：①療育スペースがどの様になっているかわからないです。 対応：①重症心身障害児以外対象となるので全てに対応できている訳ではありませんが児童の特性に合わせてできる限りの環境作りはさせて頂いています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	27	1	0	
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	27	1	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	12	11	対応：個別を主に運営を行っている為、現状交流がない状況です。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	2	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	14	10	対応：ここ数年、コロナ渦で機会を設けることができませんでした。今後、ご要望が多数あれば実施にむけて検討させて頂きます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	7	0	意見：①苦情を言った事がない。②いつもご理解、ご対応頂き感謝しております。③不満はなく、苦情を言っている他の保護者も見なかった。 対応：①②③これからも保護者と寄り添っていただける運営を大切に致します。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	11	2	対応：HP、ブログ等では療育の様子を定期的に公開しています。他の媒体で発信できることがあれば検討させて頂きたいと考えます。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	3	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	7	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	13	2	対応：定期的に利用児童と避難訓練、職員間での知識共有等を行っています。HP、ブログで公開していますのでご覧いただければと思います。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	27	1	0	意見：①好きな事を取入れて、本人のペースで勉強できるので楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28	0	0	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。